

特集 訪問看護推進への新しいステップ

平成16年から行なわれてきた訪問看護推進事業の成果はどのようにあらわれてきているのだろうか。評価の高い2つの取り組みの報告と、推進事業に関わってきた3氏による座談会「新たな訪問看護の支援とは？」を合わせて特集とします。

福岡県において行政が取り組む24時間体制の

訪問看護ステーションの整備・拡充 成瀬昂ほか

静岡県訪問看護ステーション協議会が行なってきた

訪問看護推進事業の中間報告 鈴木恵子

〔座談会〕新たな訪問看護の支援とは？ 大森綏子／鎌田久美子／角田直枝

■研究報告

災害時要援護者の地震に対する自助、共助、公助に関する面談調査 木下由美子

■実践報告

「在宅か？ホスピスカ？」迷う家族を支え、在宅で看取るために 青木由香

■連載

“ケースメソッド”でステーション経営の頭を鍛える 小池智子ほか／マグネットステーションインタビュー 鈴木こずえ／訪問看護時時刻々 石田昌宏／わたしのことをわたしから 細川聡美／在宅ケア もっとやさしく、もっと自由に！ 秋山正子／すっきり&安心アロマ 百々雅子／福島光子／せんねん村村長 老いを地域で活かす 中澤明子／ほんとの出会い 岡田真紀／読むことと旅すること 服部祥子／お母さんといっしょ 横谷順子

編集後記

●「やふあやふあ」と吹く風に包まれるようにゆったり過ごしてほしいと、レスパイトケア施設うりずん命名の由来を書かれた高橋論文、訪問看護との顔の見える関係を切望する加部論文。そして3つのステーションから小児訪問看護の取り組みを寄せていただき特集としました。下地論文には、昨年の本誌2月号「人工呼吸器から離脱し、自発呼吸を取り戻した小児のケース」(14巻2号, p.111-115)の元気なA君の写真があります。……伊藤
●今月は現場月間だった。いくつかの診療所・ステーションの導きで、往診・訪看に同行させていただき、20数軒のお宅にお邪魔した。目を奪われたのは、壁に飾られた絵や写真だ。どんな家にも必ずあった。いろいろなシーンがあった。都心の集合アパートに生保で一人暮らしする治療の手立てないAさん宅には、その暮らしぶりには不似合いな豪華な額縁の油絵が、狭い一間の一番いい場所に飾られていた。聞けば、故郷の湖を描いたもので、何十年も前に購入したという。色褪せた、でも美しい絵だった。在宅医療が、その人固有の年月の積み重ねとともにあることをほんの少し肌で感じた。私をご自宅に招き入れてくださったみなさんに感謝します。……………杉本

訪問看護と介護 第15巻 第8号(通巻170号) 2010年8月15日発行(毎月1回15日発行)

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2010, Printed in Japan

1部定価1,260円(本体1,200円+税5%) 年ごめ予約購読料13,200円(年間12冊, 税込, 送料弊社負担)

電子ジャーナル閲覧オプション付 18,200円(税込, 送料弊社負担)

発行:株式会社 医学書院/代表者:金原 優/販売部:03-3817-5659/社内案内:03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室:直通03-3817-5787 FAX 03-5804-0485 担当:杉本・伊藤・早田

E-mail houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter http://www.twitter.com/houmonkango

医学書院ホームページURL http://www.igaku-shoin.co.jp/

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

〔JCOPY〕<(社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, E-mail info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「1341-7045/10/¥250/論文/JCOPY」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPYへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。